

# やまたらけ

YAMADARAKE

APRIL  
No. 58  
2013

## 農鳥の主 山に生きる

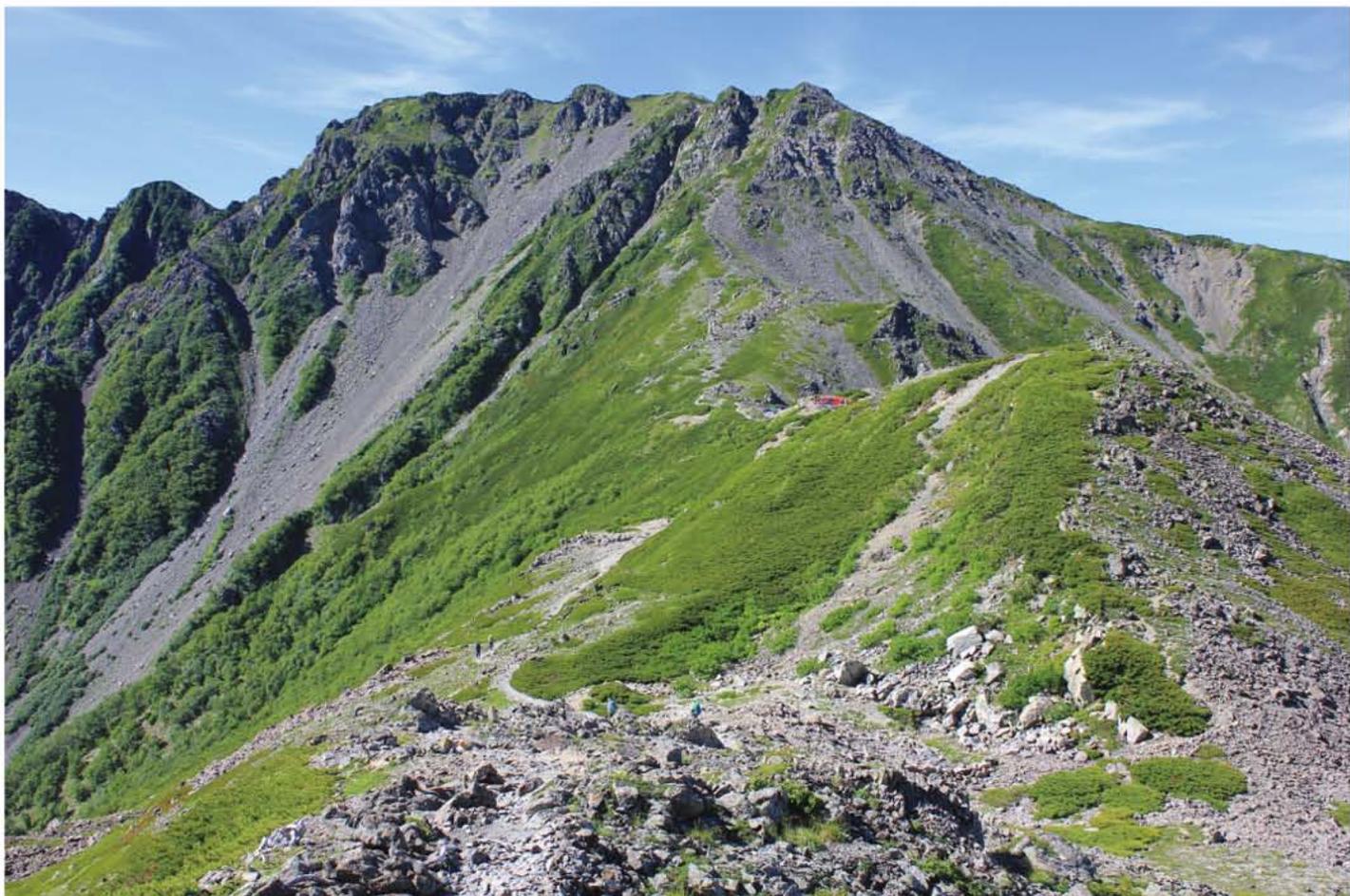


からっと晴れたある夏の日、青々とした空に映えるドラム缶が横たわっている。その上にずっかと陣取って峰の方を鋭く見つめる一人のオヤジがいる。南アルプス登山と言えば、白峰三山縦走を支える農鳥小屋のご主人深沢糾(ただし)だ。

「この時間じゃあ、到着が遅いなあ」  
事あるごとに登山客に声をかけ、山の天気や情報をその都度伝える。これまでの山上での数十年の経験から、登山客に注意を促すとともに、積極的なコミュニケーションを取っているのだ。

糾さんは一年の三分の一ほどを山上で過ごしている。それだけに、山でのちょっとした自然や動植物の変化、山に訪れる研究者らとのコミュニケーションが、日々の気づきに一役買っている。またオフシーズン、ふもとの奈良田集落の自宅へ戻った糾さんは、そこでも休む間もないくらいに活動的だ。狐やキノコ栽培、養蜂、釣りといったように、生活圏目一杯をフィールドにした糾さんの日常は集落のなかでも異色な過ごし方だ。

三〇〇〇mを超える南アルプスの山の上から、早川の自然をじっと見守ってきた深沢糾から、どのような自然観が飛び出てくるのか、彼への密着取材を通して考察してみよう。(並木義和)



▲間ノ岳 (3,189m) から南を望む。写真中央の赤い屋根が糾さんが待つ農鳥小屋。小屋の向こうに見えるのが西農鳥岳 (3,051m)。

## 農鳥小屋での生活

山の朝は非常に早い。糾さんの農鳥小屋での一日は、夜明けもはるか前の午前2時から始まる。まず登山客の朝食の準備をして、4時にはお客さんと

一緒に、朝日を拝みながら体操をする。

朝食は遅くとも5時には済ませ、次の目的地へと送り出す。お客さんを送り出し、6時頃に自分たちの朝食を済ませると、その後も片付け、布団干し、犬の散歩と大忙しだ。

10時頃、ようやく一息ついてティータイム。この辺りから、次のお客さんがぼちぼち到着し始める。糾さんはドラム缶の上に座り、登山客の到着を待ち構え、到着後は一人ひとりに声をかける。名前や住所などを確認した上で、どこから来てどこへ向かう予定なのかを必ず聞いている。それは、安全と行程に無理がないかどうかを判断するためだという。

「山では早発ち早着が基本。朝はまだ太陽も出ていないし、空気も涼しく歩

きやすい。暑くない時にさっさと登ってしまった方が効率も良い」とは糾さん。そのため、午後になってから山小屋を出ようとしたり、夕方6時以降に到着するような登山客には、山の危険性を細かく伝えてまわる。

なぜ登山客に対して、そこまでの情熱をもって話をするのが気になり、尋ねてみた。しかし、糾さん自身は元々、そこまで山に対して深い思い入れがあるわけではなかったそうだ。

というのも、糾さんは静岡県浜松市の出身。少年時代は主に浜名湖で釣りを楽しむ日々で、山へは年に数回行く程度。結婚を機に早川町の奈良田へやって来て、奥さんの家業の山小屋を手伝うようになった。

## 登山の安全を守る責任

そんな糾さんに、ある時、九死に一生の出来事が起こる。山小屋の補修に使うトタンの荷揚げの時、途中で雷の音が聞こえた。正直、怖かったが、仕事な



尾根の窪地に建つ農鳥小屋（上）。風邪の影響を受けにくい造りになっている。青いドラム缶が、糾さんの位置（左上）。



▲翌朝、凍とした空気の中、日の出を見ながら登山客と体操をする糾さん（上）。朝日が、山肌や小屋にあたり黄金色に輝く（中、下）。今日もいい天気だ。

糾さんは、登山客に良く声をかける。気象情報などを伝え、行程を確認し、無事を祈る。小屋の壁にも、下のような手づくりの表が掲示されている。



登山客への食事を仕込む糾さん（右下）。ワラビと竹輪などの煮物。この日は、常連客と食事をとる（左下）。



二日かけて小屋にたどり着いた取材班の労をねぎらい、糾さんがお茶を入れてくれた。山では、相棒の甲斐犬も一緒。

ので行くしかなかった。トタンを背負って歩いていると、突然ジリジリリ！と音がした。その瞬間、トタンが青白く光り、わずか数メートルの所に雷が落ちたのだった。自分とは逆の方に電気が流れたので、大事には至らなかったが、こんな経験が山への畏怖と周到に準備することの大切さを教えてくれたのかもしれない。

また、当時は救助ヘリがないので、遭難事故が起きた場合は山小屋のスタッフで救助するしかない。そうならないためにも、登山客の危機管理に対する意識を向上させ、また登山道の整備や山のパトロールも積極的に行うようになった。糾さんは、「山では、いかに危険かということを知っている人の話を、ちゃんと聞くことが大事」と話す。

また、こんな話もしてくれた。基本的に山小屋へ登ったら、そのシーズンは一度も奈良田の自宅へは戻らず、約4ヶ月を山で過ごす。奥様が病気で余命わずかと判明したときでさえ、これから夏のシーズンが始まるので山小屋

を空けるわけにはいかず、医師には「4ヶ月後には戻るから、自分が下りてくるまで必ず生かしておいてくれ」と伝え、涙ながらに山を登ったそうだった。山小屋に人がいると期待してやってくる登山客に対して、自分の都合で休みにはできない。それほどの覚悟と責任感を持って仕事に携わっている。

### 自然が与えてくれるんだよ

しかしながら糾さんにとって、山が教えてくれるのは厳しさだけではない。山で見られる地形、景色、植物、動物、そのどれもが日常のそれとはかけ離れている。もちろん一般的な娯楽は何もないが、このフィールドには楽しめる素材がたくさん転がっている。それを満喫しない手はない。そんなふう

に考えているそうだった。そして、天気が悪く塞ぎ込んでいた登山客が、朝になって晴れていると笑顔になり出発して行く。その姿を見送るのが好きだとも語ってくれた。

山小屋で暮らし、山にいただけで楽しみを享受できるこの仕事は、自分にピッタリだと話す糾さんは、少年のようでも楽しそうだ。

## 崩れゆく人と自然のバランス

冬は山小屋を閉め、奈良田の自宅へ戻る。しかしそこでも、糾さんは非常に活動的だ。きのこ栽培、養蜂、魚釣り、そして狩猟。どれも糾さんの生活であり、楽しみである。

きのこはホダ木を数千本置いていて、売れるほどの量はないが山小屋での食事に利用している。養蜂は、蜂を殺さないように工夫した手づくりの巣箱を標高の高い山奥の多花を探して置いている。また、色々なところに生えているハーブを摘んで、ハーブティーにして飲むのも楽しみの一つだそう。

狩猟では、主にシカとイノシシ、そしてクマも獲る。猟をすることで、最近増えてきた農作物などへの獣による被害を防ぐという意識もある。糾さんは、栽

培していたシイタケをサルに食べられたり、また山で高山植物がシカに食い荒らされた跡を発見したりしたことがきっかけで、食圧・踏圧(獣が植物を食べたり踏み荒らしたりすること)に危機感を持つようになった。山林を無秩序に伐採し、スギやヒノキを植林した結果、餌不足に陥ったことが原因の一つだと踏んでいる。そして、農山村の人口減少によって耕作放棄地が増え、獣も境界が分からなくなり、人里に下りてきていると考えている。

「以前は危険を犯してまで人里へは下りて来なかった。それに昔はあまり捕れなかったが、今は猟師も減って、いくらでも獲れる。だから、無理して獲ろうとする人は少ない。」

少なくとも自分はできる限り猟をして、獣の害を減らしたいと考えている。

## 自然を畏れ、人を知る

「自然信仰(アニミズム)や山の神信仰など、自然には神様が宿り、畏れの対



蜂の巣箱を自作する糾さん(左)。蜂に優しい巣箱になっているんだとか。糾さんの作業小屋の周辺には、これまで作った巣箱や、巣箱の材料がたくさん置かれていた(右)。



自宅周辺で採れたハーブで、ハーブティーを入れてくれた糾さん。もちろん、自家製の蜂蜜を砂糖代わりに。濃厚な香りが、ハーブと良く合う(下)。



かつて獲った熊の手(下)。冷凍してあったものを、見せてくれた。その大きさとグローブのような厚さに圧倒された。



タヌキ、キツネ、テンなどを捕るための箱罠(左)。狩猟は、自然界と人間のバランスを取るための作業。写真上は鹿肉。ぶつ切りにして、犬にも食べさせる。





▲ 定位置のドラム缶の上に座り、登山客と話をする糾さんは、どこか嬉しそう。時には厳しい言葉も出るが、それも登山客の無事と安全を願ってのこと。きっと、身体が動かなくなるまで山に登り続けるだろう。

象なんだよ。」  
 長年に渡る山での経験から、自然に対して畏敬の念を抱くということが大事だと話す糾さんは、「我々人間は決して完璧だと思っただけじゃない」という気持ちを持って、日々を過ごしている。  
 山小屋での生活、登山客との交流、動物たちとの知恵比べ。糾さんが自然とともに楽しく暮らしているのは、山や自然に身を委ねているからであるように見えた。糾さんの暮らしを真似をするのは難しいかもしれ

お詫び

前号「早川のモツ料理」の中で、鹿肉を生で食べるという標記がありましたが、これは猟師が自己責任の上に行っていることであり、決して生食を奨励するものではありません。早川町の食文化の一端としてご紹介させていただいたことを、ご了解下さい。

なお、不十分な表現により、一部の方に誤解や不快感を与えたことにつきまして、この場を借りてお詫び申し上げます。



ないが、その考え方や姿勢には多いに学ぶべきだと感じた。

豪華賞品？が当たる  
**やまだらけクイズ！ 36**

問：糾さんが主人を務める農鳥小屋。さて、この小屋は白根三山のどこにあるのでしょうか？

- 答：1、北岳と間ノ岳の間  
 2、間ノ岳と西農鳥岳の間  
 3、西農鳥岳と農鳥岳の間

正解者の中から抽選で3名様に、糾さんからのスペシャルプレゼントをお贈りします。中身は届いてからのお楽しみ！

前回のクイズの正解は、3の「肺」でした。抽選の結果、秋山一さん(さいたま市)と中山大輝さん(藤枝市)が当選しました。おめでとうございます！

早川旬の直送便

直送便ウェブサイトでは、その他の商品も販売しております。会員割引も適用できますので、ぜひご利用下さい。

山からの年に一度のおごっそう  
**「早川町産・山菜の詰め合わせ」**

春の山からのおごっそうといえば、そう、山菜ですね！

早川町の雄大な自然で育てられた山菜は、スーパーで販売しているものと違い、大きく、味も深く、本来の山菜の味を楽しめます。山菜の横綱「タラの芽」を始めウドやコシアブラなどをご用意いたします。天ぷらはもちろん！！お好みの調理方法で、年に1度しか味わえない早川の山菜をお召し上がりください。



写真はイメージです。

内容 / 500g以上  
 タラの芽、コシアブラ、ウド、コゴミ、ワラビなど3~4種類

価格 / 通常2,000円、会員1,800円+送料

発送 / 4月下旬以降

締切 / 4月22日(月)まで

※注文数によっては、売り切れてしまう可能性もありますので、ご注文はお早めにお願いたします。

早川町の素材たっぷりのデザート  
**「早川町よくばりご当地アイスセット」**

ころ柿、梅、お茶、ポポなど、早川町産の素材を使ったご当地アイスのセットです。町内の管理されていない果樹や活かされていない、もったいない素材を活用しました。



もちろん、味も折り紙付き。食後のデザートに「田舎の高級アイス」を召し上がってみてはいかがでしょうか。

内容 / 1セット100mlのカップアイス6個入り

【基本セット】

ポポアイス × 2個、ポポシャーベット × 1個、ころ柿アイス × 1個、雨畑茶アイス × 1個、梅シャーベット × 1個

価格 / 一般1,800円、会員1,620円+送料

発送 / 注文順に発送

締切 / 通年受付

※セット内容は変更できますので、注文時にお申し付けください。

■ ご注文・お問い合わせ先 ■

会員価格は、早川サポーターズクラブ、及びNPO法人日本上流文化圏研究所の会員に適用されます。

NPO 法人 日本上流文化圏研究所 (やまだらけ編集部)

TEL. 0556-45-2160 (9:00~17:30) FAX. 0556-45-2268 E-mail shop@joryuken.net

注文者氏名、住所、電話番号、お送り先氏名、住所、電話番号、商品名、数量をご連絡下さい。ファックス、メールの場合、折り返しご連絡いたします。3日経っても連絡がない場合は、お手数ですが電話でお問合せください。支払いは、商品と一緒に請求書をお送りしますので、指定の金融機関へお振込みください。

送料は、全ての商品の基本料金が、普通便 580 円で関西、中国、四国、九州、東北、北海道は+100 円~420 円がかかります。クール便については、さらに 190 円上乗せになります。

4/6-21 「今澤みどり・絵手紙展」

～早川町出身の今澤みどりさんによる作品展～

早川町出身で看護師の今澤みどりさんが、『生きる』『元気発信』をテーマに描いた絵手紙を展示します。

「暮らしの中で感じた感動や、人の温かさについて伝える事が出来たら嬉しく思います。そして、私の原点はふるさとにあり、今回その地にて展示出来ます事に深く感謝いたします。」(本人談)



期 間/4月6日(土)～21日(日) 10時～17時  
※月、火曜日休館  
(祝日の場合は開場/水曜日代休)

問い合わせ先「はやかわ創造空間 COCOROTO」  
住所：山梨県南巨摩郡早川町保 1525  
電話：0556-45-2770 E-Mail：cocoroto.cs@gmail.com  
展示会の様子 <http://cocoroto.cocolog-nifty.com/blog/>

5/1-26 「山翡翠クラブ野鳥写真展」

～南アルプス邑・野鳥公園企画展/自然体験レクチャー～

野鳥をこよなく愛する人たちが写した鳥達の写真展。

鳥は、こんなに美しかったんだー！と改めて実感することの出来る展示会です。羽の色、形、表情までもが鮮明に写し出され、自然の織りなす造形美が圧巻です。



期 間/5月1日(水)～26日(日) 10時～17時  
※月、火曜日休館  
(祝日の場合は開場/水曜日代休)

今年も始まります！「はやかわトラねこ市」

3年目に突入したトラねこ市。早川町の観光物産推奨品をはじめ、旬の農産物や工芸品など、早川の物産が並びます。ぜひお越しください。

【ミニトラねこ市】  
日時：4月21日(日)9：00～13：00  
場所：麓の直売所駐車場

「ワラビの収穫体験詰め放題」開催予定！

【トラねこ市】  
日時：5月12日(日)9：00～13：00  
場所：南アルプス邑野鳥公園駐車場  
サポーターズクラブ会員証を提示で、  
石臼挽きコーヒー1杯無料！

【今後の開催予定日】  
通常トラねこ市：10月13日(日)  
ミニトラねこ市：毎月第2日曜日(6月～9月)  
6月9日/7月14日/8月11日/9月8日

問い合わせ先「早川町観光協会」  
山梨県南巨摩郡早川町保 509 ☎0556-45-2302

4/27 早川町親子で田舎暮らしセミナー  
「秘境温泉とパワースポットめぐり」

日本一人口の少ない町の日本一素敵な学びができる学校、それが早川北小学校です。学校をはじめ早川町の魅力をご紹介します。終点「奈良田」では郷土料理をご用意！かけ流しの温泉でゆっくりした後は地元の人との体験を通しての交流会を企画しています。どうぞご家族で早川町満喫の一日を。

日 時/4月27日(土) 10：00～16：00頃  
対 象/3歳から小学生のお子さんご家族  
参加費/大人1名1,000円(昼食代含む)  
定 員/5家族 ※4月17日午前までに要申込  
日 程/早川北小学校集合—新倉断層見学—湯島の杉見学—奈良田の里(昼食・自由散策)  
—交流会—早川北小学校解散

主催：「北っ子応援団」 <http://sky.geocities.jp/kitakkoouendan/>  
申込/問い合わせ先  
「NPO法人日本上流文化圏研究所」(担当：鹿島)  
TEL:0556-45-2160 FAX:0556-45-2268 E-mail:info@joryuken.net

早川町が  
生き残る道は  
自然を守ることにある

西山温泉 元湯 蓬莱館

〒409-2702 山梨県南巨摩郡早川町湯島 73  
TEL：0556-48-2211(代)/FAX：0556-48-2366

奈良田温泉  
七不思議の湯  
白根館

日本秘湯を守る会々員

〒409-2701  
山梨県南巨摩郡早川町奈良田 344  
電話 0556-48-2711  
FAX 0556-48-2770  
[www.nukuyu.com/shiranekan/](http://www.nukuyu.com/shiranekan/)

毎分 1,630ℓ 湯温 52℃の掘削自噴火温泉では日本唯一を誇る新湯湧出  
全てのお風呂、客室風呂、給湯、シャワーに至るまで 源泉掛け流し

全館源泉掛け流しの宿  
西山温泉 慶雲館

〒409-2702  
山梨県南巨摩郡早川町西山温泉  
TEL 0556-48-2111  
FAX 0556-48-2611 <http://www.kefunkan.co.jp>

地元密着の店

有限会社 スーパー岩田屋

山梨県南巨摩郡身延町飯富 1383 番地  
TEL：0556-42-2125 FAX：0556-42-2299

〒400-0606  
山梨県南巨摩郡身延町十合 4249  
電話 0556-27-0224  
ファクシミリ 0556-27-0227

十谷上湯温泉  
源氏の湯

日本秘湯を守る会々員 [www.nukuyu.com/genji-tyu/](http://www.nukuyu.com/genji-tyu/)

新築、改装、マイホームの事なら何でもおまかせ

日本建築のプロフェッショナル  
望月工務店

〒409-2713 山梨県南巨摩郡早川町保 1792  
TEL.0556-45-3016 FAX.0556-45-2661(工場)

4/20-21 春の訪れを楽しむ  
「山菜・野草料理ツアー」

南アルプスの麓・早川町の自然の中で、ガイドと一緒に春の山菜や野草を探しましょう。採取した山菜を調理して、春の恵みをいただきます。採れた山菜はお土産に！

摘んで、作って、味わって、早川の芽吹きを楽しみましょう。

日時／4月20日(土)～21日(日)  
対象／中学生以上  
参加費／大人12,000円/1名(税込み)  
※参加費には宿泊代、プログラム費、食費(3食)、障害保険料が含まれます。  
定員／13名 ※4月17日までに要申込



6/15-16 ワイルドライフツアー  
「夜の生きものに迫る」

～「生きものたちの時間」を体験しよう！～

夜の森には、生きもの達の魅力がいっぱい！  
暗闇の中、エサを求めて活動するニホンジカ。産卵のために樹上に集まるモリアオガエルの命のドラマ。まるで星空のように舞うヘイケボタルの姿…。昼間は息を潜めているコウモリたちの棲む洞窟も探検します。

初夏の夜、野生動物の魅力あふれる森へ。専門スタッフが生きもの達を科学的な視点で観察する楽しさをお伝えします。



日時／6月15日(土)～16日(日)  
対象／中学生以上  
参加費／大人12,000円/1名(税込み)  
※参加費には宿泊代、プログラム費、食費(3食)、障害保険料が含まれます。  
定員／13名 ※6月12日までに要申込



いずれのツアーも、宿泊場所は「光源の里温泉ヘルシー美里」です。JR身延線「下部温泉駅」または高速バス「飯富停留所」からの送迎をご希望の方は事前にご連絡ください。早川サポーターズクラブ会員は、いずれも1割引にてご参加いただけます！

申込/問い合わせ先 南アルプス生態邑「野鳥公園」または「ヘルシー美里」  
【野鳥公園】TEL/FAX: 0556-48-2288 mail: yacho@hayakawa-eco.com  
【ヘルシー美里】TEL: 0556-48-2621 FAX: 0556-48-2622 mail: info@hayakawa-eco.com

5/31-6/2 早川バードウォッチングツアー  
「憧れの夏鳥を探そう」

～森を賑わす「歌の名手たち」に逢いに行く旅～



▲アカショウビン

感します。双眼鏡・図鑑はお貸出もいたします！

幻の赤い鳥「アカショウビン」や、オオルリ、キビタキ、クロツグミなどの歌の名手を探しに、早川町の自然を知り尽くしたガイドと一緒に出かけませんか？

また、夜明けと共に一斉に鳴き始める「野鳥たちのコンサート」も体験

日時／5月31日(金)～6月2日(日)  
対象／中学生以上  
参加費／大人21,800円/1名(税込み)  
※参加費には宿泊代、プログラム費、食費(6食)、障害保険料が含まれます。  
定員／13名 ※5月27日までに要申込



5/3 早川町的一大イベント！  
「南アルプス早川山菜まつり」

若葉萌ゆる早川町で、春の自然の恵みを味和える恒例のお祭りです。

たらの芽、コシアブラ、ワラビ等のたくさんの山菜を直売する他、早川町の特産品や農産物の販売、子どもも遊べる広場や歌謡ショーなど、様々な催しが行われます。お問い合わせの上、お越し下さい！

日時／5月3日(祝) 9:00～15:00  
会場／町民スポーツ広場



問い合わせ先「早川町役場振興課」  
住所：山梨県南巨摩郡早川町高住 758  
電話：0556-45-2511



浜田屋商店  
電話 0556-48-2311

早川町で感動体験を・・・  
南アルプス生態邑  
光源の里温泉 ヘルシー美里  
南アルプス邑野鳥公園

ご予約・お問い合わせ  
TEL/0556-48-2621  
http://www.hayakawa-eco.com/hmisato/

生命保険、損害保険のことなら  
株式会社 さいとうエージェンシー  
tel.055-280-3360 fax.055-280-3361

自動車販売、オートリース、レンタカーのことなら  
有限会社 S・T・E・P  
tel.055-280-3350



〒400-0422 山梨県南アルプス市荻沢 1356-1

NTT 東日本 FLET'S 光  
販売代理店

オフィス事務機(有)

〒409-3244  
山梨県西八代郡市川三郷町岩間 2077  
TEL.0556-32-1003 FAX.0556-32-1004

霊峰七面山の登山口であなただの旅を支える

株式会社 俵屋観光  
バス ジャンボタクシー

有限会社 俵屋旅館  
宿泊 安全 法事などに

〒409-2732  
山梨県南巨摩郡早川町高住 621  
電話 0556-45-2500

南アルプス街道の交通安全と  
清流早川の自然を守ることを永遠のテーマに  
地域社会の発展に貢献する事を目指します。

早川砂利協同組合

理事長 井上 聡一郎  
山梨県南巨摩郡早川町小橋 26  
電話 0556-45-2450

# ごまがたっぷり 冬菜の白和え

佐野益美さん(葉袋)、近藤節子さん(千須和)

春先、畑で威勢よく育つ「冬菜」。昔から育て継がれている野菜で、おひたしやお漬物の他、よく作られるのが白和え。今回の料理は、たっぷりのごまをしっとりするまで摺るのが秘訣です。

冬菜は葉が厚めなので茹でてもしっかりとおり、よく摺ったごまと豆腐のなめらかで濃厚な口当たりがクセになる一品です。

## ■材料(4~5人分)

木綿豆腐…1/2丁  
冬菜…350g(茹でたもの)  
しいたけ…2枚  
人参…1/4本  
こんにゃく…100g  
白ごま…50g

砂糖…大さじ5  
塩…小さじ1  
醤油…小さじ1  
サラダ油…適量  
【A】醤油…大さじ1  
砂糖…少々  
だしの素…少々



豆腐とごまを摺るのも、意外と大変!

## 作り方



① 豆腐は5分程茹でて、重しをして水を切る。



② たっぶりのお湯で茹でた冬菜は長さ5mmに切り、よく絞って水気を切り、ほぐして醤油をふりかける。



③ こんにゃくは千切りにし、茹でてアクを抜く。しいたけは薄切り、人参は千切りにする。



④ しいたけ、にんじん、こんにゃくを油で炒め、Aを加えて煮て冷ます。



⑤ 炒ったごまを摺り、豆腐を加えて滑らかになるまで摺る。砂糖と塩で味を整える。



⑥ ⑤に④と冬菜を加えて、和えれば完成!

白和えは、集落でお葬式を出した時の定番料理。お母さん方が作ったその美味しさは、今も語りぐさです。ただ、赤を避けて人参は入れませんでした。右手奥は茹でた冬菜の茎部分、甘みがあり、ここが一番好きな人も。左奥は佐野さん自家製の沢庵です。

## ■NEXT やまだらけ

58号特集(4月上旬お届け)

### 「身延山・七面山参詣の歴史」

日蓮宗の総本山・身延山と、身延山を守る霊山・七面山。ふたつの山は、身延往還で結ばれ、身延山を越え、かつては赤沢宿を経由し七面山へと向かう「身延七面講」の姿が多数見られた。そう、このエリアは、信仰をテーマにした一大観光地だったのである。

資料を元に、目的や足取り、スケジュールなど、身延山・七面山参詣の姿を解明するとともに、その今後について考えたい。

地域発展のお手伝い! 地域の暮らしを守る!

**早邦建設株式会社**

山梨県南巨摩郡早川町高住 645-27  
TEL.0556-45-3000 FAX.0556-45-2288  
【生コンクリートプラント】TEL.0556-45-2700  
http://www.soho3000.com/

## 読者の声

● もつの煮こみ、美味しそうですね! 鹿や馬はまだ食べたことがありません。調理法も勉強になりました。試してレシピも、いつも参考にさせてもらっています。(さいたま市Aさん)

● 私の周囲でも、もつ煮、もつ焼きは人気です。肉食の歴史はそんなに古くないかもしれませんが、文化としてよく熟していますね。(八千代市Sさん)

● 南アルプスプラザの様子に分かってよかったです。親しみやすい店員さんに驚きました。今度は家族で「豚もつ煮」を食べにいきたいと思いました!(藤枝市Nさん)

● 鹿肉は時折頂いたりすることはありますが、もつは食べたことがなかったので、機会があれば料理に挑戦してみたいと思います。(川上村Mさん)

編集部: 主に男性からですが、もつに関する共感の

お葉書を、たくさん頂きました。それにしても、どうしてみなさん、こんなにもつが好きなんですかね。DNAに何か刻まれているのでしょうか。人類の根源的な部分に、何かヒミツがありそうだと感じているのは、私だけでしょうか?

早川町 **望月石材店**  
☎0556-45-2601

身延町 **飯富展示場**  
☎0556-42-4440

**かあさんのこもりうた**

こんのひとみ作 いちもようこ絵

定価1,470円(税込) / 縦236×横246mm  
ISBN978-4-323-02445-5

安倍首相が所信表明演説で語った被災地の少女と家族の物語です。  
すべての方に贈りたい絵本。

**金の星社** 東京都台東区小島1-4-3 〒111-0066  
TEL.03-3861-1861 FAX.03-3861-1507

鉛筆の名作  
「ハイユニ」

1ダース  
¥1,764

文具の  
**月禾堂** TEL(0556)22-0445

去年の夏、苦しい思いをしながらも実際に白峰三山を登って取材に伺いました。毎シーズン、当たり前のように山小屋を開いている斜さんの凄さを改めて感じました。ぱっと見は確かにとっつきにくい感じはしましたが、話をしてみると意外と意外、本当に色々な方面の話を面白おかしく教えて下さる、懐の深い方なのだと思います。恐らく、ちょっとシャイなのかもしれません。

## 山を唄けば宝の山 【やまだらけ】

発行元/フィールドミュージアム運営委員会  
NPO法人日本上流文化園研究所内  
住所/山梨県南巨摩郡早川町葉袋430 〒409-2727  
電話/0556-45-2160 ファクシミリ/0556-45-2288